

## 【すけべえくん】

名前っていうのは、なんちゅうか、困ったもんじゃのう。

わしはとくべつ、大野助平（だいのすけべえ）君の仲良しでもないんじゃが、この名前ですいぶんいじめられていたからのう。

しかも【すけべえくん】は、やりかえすなんてことができそうもない、青瓢箪（あおびょうたん）じゃ。

わしはとくべつ、喧嘩に強いわけでもないんじゃが、懐爺もしつてのとおり、ずるがしこいからのう。

「【すけべえくん】は、じつはおそろしいおぼけじゃぞい。いじめたやつは、くいころされるぞーい」

そう周りにいいふらしたんじゃ。

とうぜんみんなふるえあがってのう、いじめはまったくなくなったんじゃが。

あるとき、わしは【すけべえくん】に呼ばれて、こういわれたんじゃ。

「金ちゃん、ありがとう。でも、ぼくは、これで、さよならだ」

「なぜじゃ」

「なぜって、ぼくは、ほんとおぼけなんだよ。それを隠して小学生やとった。でも、ばれてしまったから、もう、小学生やっていられないんだ」

「つまり、わしのやったことは、やぶへびってやつだったのかのう」

「そんなことはないよ。金ちゃんには、感謝しているよ」

その翌日、【すけべえくん】は、音もなく、転校していったんじゃ。